

ひろしま ひろしま  
広島市 村井福二郎資料 仮目録

広島県立文書館

平成27年(2015)9月

凡 例

- 1 本目録には、広島市 村井福二郎資料を掲載した。
- 2 目録の各項目は以下のとおり。

請求番号 本文書群の群番号(200207)と、この項目の記号を組み合わせたものが請求記号になる。

【例】 1 200207/1

表 題 資料に原表題のあるものはそのまま採り、ないものは適宜付与し〔 〕書きで表記した。内容等で補記すべきものがあれば( )で補った。集合形態をした資料の内訳を示す場合には、頭に“○”を付けた。

年 代 資料に記された作成年月日を探り、推測した場合は( )書きで表記した。

作 成 資料に授受関係のあるものは で結んで表記した。多人数にわたるものは、適宜「他 名」と略記した。

形 態 資料の形態を記した。

数 量 資料の点数を記した。

- 3 文書の排列は請求記号順とした。
- 4 利用の参考のため、本文書群の概要を冒頭に付した。

## 【文書群概要】

ひろしま ひらい ふくじろう  
広島市 村井福二郎資料 (請求記号 200207)

大正11年(1922)5月から12年7月まで、住友銀行広島支店支配人代理として勤務した村井福二郎が撮影した広島の風景を含む写真アルバム。

出 所 村井福二郎

出所地名 広島市

役職等 住友銀行広島支店支配人代理

分量 1点

収蔵までの経緯 平成14年(2002)7月16日、原蔵者より寄贈。

年代 大正11年(1922)5月～12年7月

歴史(沿革/履歴等) 撮影者の村井福二郎は、明治23年(1890)福岡県生まれ。明治34年に東京へ移住、麻布中学、東京高等商業学校を卒業して、明治45年大阪・住友銀行に就職。大阪本店を皮切りに、桑港支店などを経て大正11年(1922)5月に広島支店支配人代理として広島に赴任した(住所は不明)。大正12年7月には尾道支店支配人。その後岡山、本店、ハワイ住友銀行支配人、門司・久留米・日本橋支店長を経て常任監査役で終戦、昭和46年に死去。

内 容 村井福二郎氏が大正11～12年に撮影した広島近辺の写真アルバム。家族写真のほか、キャプションには、「大正十一年十一月広島元安橋ヨリ商品陳列館ヲ望」、「大正十一年十二月十七日冬枯・太田川畔」、「大正十一年十一月安芸郡戸阪村」、「大正十二年二月二十五日広島三篠鉄橋」、「大正十二年三月四日可部之対岸」、「十二年三月四日太田川橋」、「十二年四月一日饒津ノ桜」、十二年四月一日比治山御便殿」、「十二年四月一日比治山ノ桜」、十二年四月三日岩国ノ桜」、「十二年四月十九日於二葉山」、「十二年四月廿二日明星院之庭」、「十二年五月十三日工事中ノ合宿所(広島)」、「十二年五月十三日広島常葉橋下」、「十二年六月三日宮島もみぢ谷公園」などがある。家族写真で、一緒に写っているのは妻の勝子(明治33年生、大正8年結婚)、長男和雄(大正10年生、寄贈者の夫、通産省と日新製鋼勤務、昭和50年死去)とお手伝いの女性(名前は不明)。

検索手段 「広島県立文書館収蔵文書仮目録」

(2015. 4.22 記述/西村 晃)

## 【目録】

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
1	〔写真アルバム〕	大正11. 5.～大正12. 7.	(村井福二郎)	アルバム	1冊